

付目標の設定に関しても6割が肯定的だった。また、寄付目標額についても8~9割の人が妥当であると回答。実際の募金は1~2回要請し、例会場での一括徴収が多いという結果でした。

その他の詳細につきましては、11月がロータリー財団月間ですので、その時にまたお話することになると思いますので、今回は以上セミナーの報告とさせていただきます。



<職業奉仕委員会>

結城委員長

職業奉仕委員会がメモワールプラザ・ソシア21にて開かれました。その中で報告されたことは、横浜では平成14年度から、小中学の副校長の職場研修が3日間くらいの日程で行われているそうですが、今年度から川崎でも始まるということで、受け入れられる職場がありましたら申請してくださいという要請を受けました。

また、川崎西クラブでは中学生の職場体験を前から行っているようで、その発表がありました。多摩クラブでは向ヶ丘工業高校の職場体験の受け入れをされているそうです。当クラブにも川崎市教育委員会から職場体験の受け入れ登録用紙がまわってくると思いますので、受け入れられる事業所がありましたら、ぜひ申請していただきたいと思います。

職場訪問については、実施しているクラブと実施していないクラブがありました。

職業奉仕についてはどのクラブも予算がないということでした。当クラブはちゃんと予算を取って

ますのでいいほうです。予算があればいろいろなことができるので、来年もよろしくお祈いします。

10月16日（火）に山梨への職場訪問をいたします。現在、34名の参加となっております。楽しく一日過ごしたいと思いますのでよろしくお祈いします。

<クラブ名称変更の件について> 佐々木会長

名称変更につきまして、提案者である鈴木会員からいただいた提案の理由がございしますので、代わって報告させていただきます。

1. 創立当時は、クラブの例会場、事務所は百合ヶ丘近くにあったが、現在は例会場、事務所ともに新百合ヶ丘近くとなっているため、名称と実態が遊離している。
2. クラブの名称は地域の人々だれにでもわかりやすいことも地域に根ざした活動を行うために重要。
3. 会員増強はロータリークラブ存続の絶対必要条件であるが、同じテリトリー内に麻生RCがあるために、入会クラブ選定の際、地域一のクラブに入会したいと思っている候補者に誤解を与えかねない。過去の例によってクラブ名からは、市民に与える印象としては百合丘RCが麻生RCの親クラブだとは思えないようだ。
4. ロータリー財団奨学生の応募は、学生自身が近くのロータリークラブに直接アクセスを行う様式をとっているが、近年の応募は麻生RCに集中している。

以上のことを考慮して、アンケートの回答をよろしくお祈いいたします。

